

## ○. トンネル工学委員会技術小委員会

### 「都市において構造物に近接したトンネルの設計・施工法に関する検討部会」の

#### 委員募集

応募締切日:2019年2月28日[木]

トンネル工学委員会技術小委員会(小委員長:京谷孝史)では、都市内、郊外において構造物に近接したトンネルの設計・施工法に関する検討部会を発足し、ライブラリー作成に着手する予定としております。この部会に積極的にご参加いただける方を委員として公募いたします。なお、採否につきましてはご一任くださいますよう、お願いいたします。

#### ・委員会名称

都市において構造物に近接したトンネルの設計・施工法に関する検討部会

#### ・部会長, 副部会長, 幹事長

部会長:田嶋仁志(首都高速道路技術センター), 副部会長:本田諭(東日本旅客鉄道)  
幹事長:津野究(鉄道総合技術研究所)

#### ・公募する委員の数

委員若干名程度

#### ・活動期間

平成31年4月から3年間を予定。

#### ・活動方法

年3回程度に部会を開催。必要によりWG設置。旅費、交通費は原則として支給されません。

#### ・活動の目的

都市内(郊外)等の狭隘、過密な高度利用地区において、地上、地下に限らず、鉄道、道路、インフラ設備等に近接して構築するトンネル構造物は多い。本検討部会では、それらの事例において、施工事例を収集するとともに、その設計法、施工方法(近接した構造物に対する対策工法も含む)、また、施工事例の構造物の挙動について、施工結果と事前予測との比較などを紹介するものである。トンネル工法は、シールド工法と特殊トンネル工法(パイプルーフ・HEP&JES等のアンダーパス工事)を主とするが、検討状況により開削トンネル工法も追加する。

なお、近接した構造物には、既設構造物のみならず、トンネル仮設工事、トンネル切開き工事、トンネル接続工事等同一工事で複数の工事を平行して行う工事も含むものとした。この場合、同一工事であるため、その構造物の挙動についてもより精度が高い検討ができる可能性がある。

## ・応募要件

下記の条件をすべて満たす方とします。

- ① 土木学会の個人会員であること
- ② シールドトンネル、アンダーパストンネル等の特殊トンネル工法の近接施工等に携わった経験があること
- ③ 大学・公的機関以外の方では、土木学会法人会員の組織に所属すること(期間途中で交代した場合、後任者を専任できる組織に所属していること)

## ・応募方法・締切

参加希望の方は、MS ワードファイルに(1)氏名, (2)所属, (3)連絡先(〒・住所・TEL・FAX・E-mail), (4)会員番号、(5)参加希望理由, (7)その他の要望をご記入のうえ, 下記の E-mail に添付してお申込みください。こちらから折り返しご連絡を差し上げます。申込み期限は 2019 年 2 月 28 日(木)です。

## ・応募先・問合せ

公益社団法人 土木学会 研究事業課

林 淳二

E-mail j-hayashi@jsce.or.jp